

第36号  
 発行日:平成16年10月20日  
 発行所  
 東京青山同窓会事務局  
 〒107-0062  
 港区南青山3-18-4-304  
 (有)ジェイ・クラブ内  
 TEL. 03-3423-3591  
 発行者 池

# 東京会報

## 東京青山同窓会

—東京青山同窓会年間維持費—  
 11口 / 1,000円2口以上(年間)  
 会計幹事:山根 伸之(64回)  
 振込先  
 みずほ信託銀行 本店  
 普4782496 東京青山同窓会  
 郵便振込口座 00150-9-4074

### 2004年東京青山同窓会新人歓迎会・講演会報告

平成16年6月18日(金) 於:東京全日空ホテル 増子藤男 (68回)

恒例の新人歓迎会が梅雨の中休みの6月18日行われた。会場は恒例の全日空ホテル、参加者は112回の新人17名を含む百余名でスペシャルゲストに講演者の東海大学の湯川豊教授(65回)と親交のある俳優・柴俊夫、真野響子(テレビで見るよりべっぴんさん)ご夫妻とそのお嬢さんが参加され非常に盛り上がった会となった。

前半の第一部は御馴染みの山本貴美子さん(107回)の司会で開会。栗林貞一(59回)東京青山同窓会会長の挨拶に始まり青山同窓会会長の長谷川義明(61回)氏の挨拶、新潟高校の旧三年担任の阿部直人先生の高校の近況報告と続き、前半のハイライト湯川教授の講演が始まった。題名は「世界をひろげる」とあったが中身は新人に対して本を読めとのことで、その理由として一番重要なことは

自分の世界が広がると言われ、その例として古事記の三輪山伝説からの例や夏目漱石の名著三四郎の熊本から東京に上京中の話など非常に興味深い話を語られ、新人でない我々旧人もこれから本を読まなきゃと思わせる内容で参加者の感銘を呼び込んだ講演であった。講演の後、新人代表の坂田奈緒美さんの返礼の辞があり、第二部の懇親会が同じく御馴染みの小橋川嘉樹君(107回)の軽妙な司会で始まった。

今回は初めて行われたのが新人へのアドバイスとして80回の長正子さんから訪問販売に目を向けるな、電話勧誘に注意せよ、キャッチセールスに引っかかるな、出会い系サイトに興味を示すな、など都会はハイエナの集まりであるとの注意があり新人には参考になったものと思われた。その後61回の金子章

さんから今回東京青山同窓会で初のゴルフ同好会が結成され、その第一回が9月17日(金)平塚富士見カントリークラブで行われるので是非先輩後輩と顔馴染みになる良い機会なので沢山の参加を呼びかける案内があり、その後恒例の最長老の名誉会長の斎藤伸雄さん(44回)の軽妙な学生時代の柔道一直線の思い出話と乾杯の音頭の後懇親会が行われた。今回はアトラクションが無いので新人も昔の先生の所にお酌に行ったり久しぶりに同期生と話をするなど十分な時間が取れたと思われる。懇親会の後半は恒例の校歌斉唱84回の島津隆さんと107回の五十嵐祐介さんの音頭で行われた。最後はこれも御馴染みの74回の菊池隆さん(ちなみにNYメッツの松井選手の義父です)の音頭で応援歌唱が行われ無事歓迎会が終了した。二次会はこれ又御馴染みの赤坂日本海庄やでにぎやかに行われた。

今回の歓迎会に参加されなかった方は是非来年参加され昔の同期の人や先輩、後輩と交友するいいチャンスなので次回の参加を切に期待して報告を終わりにします。



### この頃うれしいこと

東京青山同窓会  
会長 栗林 貞一 (59回)

東京青山同窓会の皆さんお元気でご活躍のことと思います。本年は殊の外異常気象が相次ぎ、新潟でも大きな被害がありました。油断が出来ません。どうぞ気をつけて下さい。

わが郷土新潟市に新しい市長が誕生したのは平成14年11月でした。私共の同窓の篠田昭さん(75回)です。昨年6月の新人歓迎会には篠田新市長もお見えになり、抱負を述べられました。現在、新潟市最大の課題は、新潟市を中心とする13市町村の大合併です。篠田市長をはじめ関係者の大変な努力により、

平成17年3月にこれが実現します。それは都市の機能と田園が一体となった新しい型の新潟市が生まれるということです。そして2年後の平成19年には政令指定都市となり、大きな権限と主体的な政策をもって、新しい地方分権時代を切り拓こうとしています。新潟の一層の活性化、魅力ある地域づくりが期待されます。

それからもう一つ。昨年の総会を思い出して下さい。アルビレックス新潟を皆で激励応援しました。それからもう1年がたちました。アルビレックス新潟は期待どおり、J2で優勝し、J1に昇格しました。ほんとうに嬉しいことですが、J1でのアルビレックスの活躍ぶりには全く敬服させられます。選手、サポーター、関係者が一丸となって頑張ってきたことが結実

したものと思います。観客動員数を含め、他の規範とされているようで、まことにご同慶に堪えません。

新潟は公民とも着実にかつ堂々と前進しています。精一杯応援いたしましょう。と同時にわれわれも胸を張り、大きな顔をして堂々と歩きましょう。

今度の総会は11月19日(金)です。同期の友人を中心に誘い合わせて大勢で出席して下さい。さらに今まで新人歓迎会の講演会で講師を勤めてくれた同窓生にも同期の人から声をかけて一緒に出席して下さい。



### 59回同期会報告

幹事 園城英二

9月30日(木)59回同期会を新宿の小田急センチュリーサザンタワーに於いて開催した。同ホテル21階のアーバンルームは西側に窓があり、この時期にしては珍しく富士山が見え、すばらしい眺めであった。会に先立ち囲碁の会をやらうと洪沢君の発案で近くの碁会所で5名程集まり、初めての熱戦?が繰り上げられました。

さて当会は毎年1回数十年に亘り継続されているが、今回は23名の参加があり、1年ぶりの再

会に皆大いに飲み、食べ、語らいながら楽しい一時を過ごしました。又来年の再会を誓い散会しました。

出席者は次の通り

池田正文、及川陽、大山久、岡田久、奥村繁樹、園城英二、栗林貞一、栗林洋、小林栄作、小村幸久、河野誠、茂泉喜彦、渋谷幸三、関野光弘、高山昇二郎、中野清治、納谷喜朗、花井進、牧泰彦、山田陽一、山吉一成、若木滋、渡辺満



### 山岳部OB会 創部50周年記念祝賀会

塚野憲一 (93回)

アテネで五輪の始まった8月14日(土)、新潟万代シルバーホテルに於いて山岳部創部50周年記念祝賀会が盛大に開催されました。

約1年前から名簿の作成、OBの寄稿による50周年記念誌「ふくろう」の編集等、50周年の記念行事に向けて実行委員会が結成され、馬場委員長(S41卒)、石沢事務局長(S48卒)初め新潟在住のOBに委員をお願いしました。

委員の方々の尽力により6月には10年振りに編集された記念誌「ふくろう」と祝賀会の案内が全国のOBに配布され、2ヶ月後の再会を楽しみにしておりました。

当日はお盆で帰省したメンバーも多く、飯塚先生、小田先生、片岡先生はじめ歴代の顧問の先生方のほか、山岳部を巣立った約100名の山男、山女が全国から集まりました。

石田OB会長(S34卒)の挨拶の後、会長から高校山岳部へ記念品贈呈が行われ、引き続き山岳部創立メンバーの小林氏(S30卒)の

音頭で大学時代、鹿島槍で逝った中村慎一郎氏(S42卒)ほか、他界されたOBの方々の冥福祈って献杯を捧げました。

飯塚先生の乾杯で懇親会の開宴、OB同士が50歳の年齢の差を越えて和気藹々と杯を酌み交わし、山岳部で過ごした青春時代に還り歓談に耽りました。

卒業年度別に壇上に上がって行われた自己紹介では高校時代の合宿の話、近況等が報告されましたが、中高年の登山ブームのなか、昔取ったキネツカで登山を再開された方、海外トレッキングを楽しんでおられる方等、卒業年次の古いOBも平成の若手OBに負けず意気軒昂です。近年、年配OBを中心に「新潟ふくろう」「東京ふくろう」「山形ふくろう」が

結成され、各地域でOBが集って楽しい山行も続けられています。

山岳部顧問の竹内先生からは現役高校生の活動報告がありました。毎年、途絶える事無く新入部員を迎えて、顧問の先生方にご指導戴きながら積極的な登山活動に取り組んでおります。現役の学生諸君が無事故で楽しく山登りを続けていてくれる事がOBにとっては何よりの喜びです。

最後に榊野応援団長(S38卒)、山際応援団長(S44卒)両氏の音頭で山岳部で歌い継がれた「我はふくろう」を歌い、10年後の60周年での再会を約束して閉宴となりました。50周年を期に、長年会長を勤められた石田氏に代わり馬場氏が新会長に選出され、石沢氏に



祝 新潟高校山岳部OB会創立50周年記念パーティー

は引き続き事務局長をお願いする事になりました。

# 「北のゴルフ」 スコットランドからアイルランドへ

安宅久憲 (61回)

今年六月、揃って古希を迎える61回卒の面々8人(猪間、小林兄弟、竹尾、長谷川、宗村、中学同期の岡村と私)はスコットランド、北アイルランド、アイルランドへゴルフの旅をしてきた。

英国へは今度で4回目となるが今回は主に北のリンクコース(海岸に面した立ち木のないゴルフ発祥の原型的ゴルフ場)を回ってきた。最初に寄ったロイヤルドーノックゴルフクラブはスコットランドのネス湖が北海に繋がるモレイ湾を越えて更に車で北へ一時間ほどのドーノック湾に面し(この辺の湾は皆海が深く内陸に食い込み恰も大河の河口の様である)スコットランドで3番目に古い(1616年創立、因みに一番古いのはセントアンドリュースの1552年)のが取り得のコース。

六月上旬のこの季節、見渡す限りの起伏ある畑は麦と牧草の青と菜種の花の黄色に、道の両脇は名前は知らないが色々な花、花、花、ゴルフコースには背の低いゴース(針エニシダ?)の黄色い花が満開と一年で一番華やかな台地が続いていた。

流石に朝晩は些か寒くゴルフにも長袖にセーター姿であったが人影も少なくゆったりとした田園風景に癒されて初戦の緊張感など何処へやら、加えて些か風がありプレイの結果はちょっと満足の行くものではない。終わってから地元の人から「楽しめたか?」と声を懸けられ「風があって」と答えたら「こんなのは風(windy)とは云わない、そよ風(breeze)だ」と言われてしまった。成程ここは北緯58度(樺太の北端で+55度、其れより北なのだ)この先が思い遣られる。

翌々日のネアーンゴルフクラブは北海に直接面した右に左に海を見ながらのコース、そして此れぞ正しくwindy、陽光はあれども時には身を屈めたくなる強風はスコットランドリンクの本性丸出しのお天気、アゲインスト(向かい風)のコースではどうやったらボールを前へ進められるか馬力の無さが身に沁みる、でもこんな時はゴロに限る、転がせば何とかなる事は前回で学習済み。然しフォロー(追い風)のコースに来たらしめたもの、第一打(ドライバー)で何と280ヤード(256メートル)は軽いもの、そして第2打グリーンまで残り170ヤード(155メートル)を追い風と腕前を計算し熟慮の末選んだ7番アイアンで打ったら何とグリーンオーバー、でもこの飛ばしの快感は他では味わえない貴重なお土産となった。

この後は北アイルランドに移動した。この国の一番北に在る都市ロンドンデリーはフォイル川を挟んでアイルランドとの国境の街だが境らし

き物は何も無し、但し通貨は別々、ポンドとユーロ、相手方の通貨は決して受け付けけない所は嘗てのU.Kとアイルランドの怨念を依然として引きずっているのだろうか。

北アイルランドで一番北に在るロイヤルポートラッシュGCは1888年の創設、物の本によれば1951年に全英オープンを開いたが二度と行われないのは難しすぎるからとか、成程大西洋に面して結構高低のある砂丘には木は一本も無く見晴らしは良くて、今日は風が無いから気分爽快なれど、此れが吹き荒れたらどうなる事やら、まずゴルフなどやる気が起きないであろうと思われる。

ここで珍しい人に出会った。プレーを終わってクラブハウスに休みに入って行くとそこに日本人が一人ひょっこり現れた。こんな北の地、東洋人など年に何人も訪れないであろう所、向こうは我々よりもっと吃驚した様だ。

この方、九州大学の精神科の先生でリンクコースのゴルフに魅せられて一人旅で渡り歩いているとのこと、一番ティーを一人で打ってバッグを担いで黙々と歩いて行かれた。随分変わった日本人も出て来たものだ。

ここを拠点に4箇所ほど回ってからアイルランドの首都ダブリンに移った。

今回の旅行で我々は初めての試みとしてB&B(Bed & Breakfast)即ち民宿を二度探ってみた。

このゴルフツアーの途中から加わった英国の友人ステンジャーさんにB&Bの事を聞いたら彼は利用しないとのこと、その理由は当たり前

れが有る、外れると折角の旅が台無しになるのでリスクは採りたくないとの意見だった。今回正にその通りを経験させられてしまった。

最初のB&Bはセントアンドリュースで泊まった。ここは外からの見かけに寄らず中は広く部屋もゆったりとして、家具調度品が立派で、流石噂に違わず英国人のハウスキーピングは最高である事が実感できた。庭の木々やガーデニングも手落ちなく街中なのに朝小鳥の鳴き声で目をさます等とは夢にも思わなかった。此れこそステンジャーさんの云う「当たり」その物だろう。

二度目はダブリンで泊まった。場所は港に近く道の向こうは芝生の遊歩道の先は海岸、右手遠くには英国との間を行き来する大型フェリー船がしょっちゅう見られる、左手には伝統あるロイヤルダブリンGCが見渡せる、景色は申し分無いのだが建物は外観の古びているのに合い相応しく中も大変な骨董物の三階建てで部屋は狭く、一番往生したのは床の木張りがギシギシ鳴る事、特に夜中にトイレに起きてベッドを降りるとギーッという音で下に泊まっている人を起してしまうのではないかと気を使うこと大変な物。

宿主のおばあちゃんは多弁で親切で陽気なアイリッシュだったけれど「外れ」の典型を経験させられてしまった。

そのほか色々有りましたが8人全員、下痢腹痛や忘れ物落し物も無く15日間のツアーを無事成田に降り立つ事が出来ました。

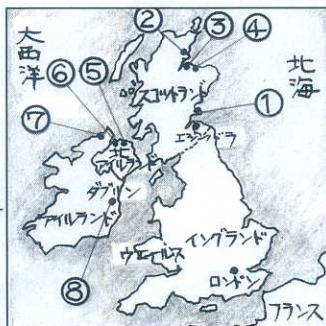
(9/29/'04)



ザ・ヨーロピアンクラブNo.12 par4  
赤シャツ、小林元雄君の第一打、風をどう読むか。左は猪間君。



セントアンドリュース オールドコース No18のザ・スウィルカン・ブリッジ  
この日は全英アマチュア選手権初日、終了後この川の中も(ボールの掃除を行っていた(午後8時頃です)。



地図の説明(立ち寄った月日)

- ①: セントアンドリュース、スコットランド (5/31)
- ②: ロイヤルドーノックGC、スコットランド (6/2)
- ③: ネアーンダンパーGC、スコットランド (6/3)
- ④: ネアーンGC、スコットランド (6/4)
- ⑤: ロイヤルポートラッシュ、北アイルランド (6/8)
- ⑥: ポートスチュアートGC、北アイルランド (6/5)
- ⑦: ロサベナGC、アイルランド (6/6)
- ⑧: ダブリン、アイルランド首都 (6/8~6/13)
- ⑨: ザ・アイルランドGC、アイルランド (6/9)
- ⑩: ポートマーンノックGC、アイルランド (6/10)
- ⑪: ザ・ヨーロピアンGC、アイルランド (6/11)
- ⑫: ザ・Kクラブ、アイルランド (6/12)

### 潟高・中央高演劇部合同公演 「初恋」50周年の集い

川崎 明 (64回)

7月31日、新潟東映ホテルで『初恋』50周年の集いが開かれたので参加してきた。昭和29年のこの日7月31日、「初恋」(村山知義作)というお芝居が新潟市公会堂で上演されたことを知っている人は少ないかも知れないが、この演劇公演にかかわった当時の演劇部員が50年ぶりに集まったのである。

この年は、わが校舎が焼失した年でもあり、わが校演劇部が中央高校演劇部と合同でこの演劇公演をしたことは、ともども校史に残る画期的なできごとであったと思う。このお芝居は、息子の恋愛を暖かく許す親子の情愛と信頼による“新しい”家族関係のあり方を描くことをつうじて、旧弊な階級社会の打破を呼びかける戦前の革新作家の戯曲であり、高校生が演ずるのはかなり難しいとされたことと記憶している。

私は当時2年生で裏方を担当。両校の3年生、1年生あわせて43名の部員と岩野、飯利両先生が顧問としてこの公演にかかわった。

ともあれ、公演をつうじて、「こちよ胸の痛み」を共有した仲間たちが50年ぶり

に集まるというので出席したわけだ。

出席者が土壇場で数名減ってしまったのは残念だったが、「こちよ胸の痛み」とその“因果関係”を語り尽くすには、あまりにも短すぎるひとときであったことはいうまでもない。

東京青山には、私の同期(64回)をはじめ前後の期にも、このお芝居にかかわった多数の関係者がおられるのでこの日の集合

写真を本紙を借りてご披露することにした。

往時の面影はいまいずこかもしれないが出席者をご紹介します。前列左から山根(宇南山)晴子、田中(遠藤)京子(中央高)、北村市郎、川本(西)マサ子、中山幸(中央高)。中列左から石崎隆司、中村輝一、横田美昭、川崎明。後列左から宮本輝夫、小松保、鈴木厚生以上12氏である。

(以上)



### 念願叶う--屋外照明灯完成

玉木正己 (86回・校内幹事)

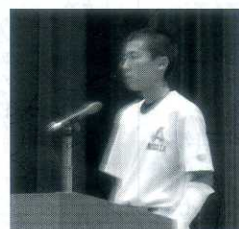
10月2日(土)、メジャーリーグでイチローが年間最多安打新記録を作った記念すべき日に、新潟高校において夕方、グラウンド照明の贈呈式・点灯式が行われました。当初はグラウンドで行う予定でしたが、あいにくの雨模様で贈呈式は視聴覚教室で屋外運動部の生徒ならびに関係者が出席する中行われました。

長谷川同窓会長の挨拶のあと小林校長に目

録が贈呈され、校長挨拶のあと生徒代表として野球部部長の本川君が「自分に甘えることなく練習に励み、照明を寄贈してくれた先輩によかったと思われるよう頑張ります」と力強く感謝のこたばを述べました。その後点灯式、雨なので校舎から照明を見る予定が、元気のよい部員達が雨の中グラウンドに飛び出し、元気よくカウントダウンで点灯、前期考査最終日という勉強づかれ後の体調も心配されるなか、これから日が短くなっても練習できるという喜びを一杯にした生徒がナイターの中、グラウンドでしばらく練習をしました。各部の同窓の関係者も出席してくだ

さり念願の照明灯点灯の喜びを全員で分かちました。

昨年秋、同窓会幹事会の席で校内幹事が、屋外運動部を是非強くしたい、グラウンドに照明灯を設置して欲しいと要望してから1年。いろいろな方々の協力を得てなんとか立派な照明施設を作ることができました。照明ができたからすぐに勝てるようになるということは、勝負の世界ですではありませんが、クラブが力強くなるのではと思います。青山同窓の多くの方が願っている甲子園出場が少しは早くなれば・・・と思う今日この頃です。



### スコアは二の次 東京青山玲瓏会ゴルフ

風間 博 (61回)

最年長が栗林会長(59回)の73才。最年少の田中隆(87期)が45才。その差28才。

東京青山会員のタテの連帯と結束を願って企画された第一回玲瓏会ゴルフコンペ。

「ボクは20年前、ここのメンバーだった。今日は雲で姿を見せないけど、富士山がよく見えてね。」と栗林会長。

'04年9月17日金曜日。神奈川県・平塚富士見カントリークラブ・平塚コース。

暑さも、湿気もハンパじゃなく、スタート前から全員汗ビショリ。

新潟から参加してくれた木村昇(61回)は在京ゴルフ軍団のチャンピオン。「暑くよくて、駄目なれ」とコボしながらもしっかりバーディを決める。

津久井保(63回)はプレイ中に眼鏡を失くし、「16ストロークは損した」とグチありだったがグロス96。

スタートがダボ発進で口惜しがっていた渡辺千艦(68回)。上がってみればグロス87。68期は61期の17名に次ぐ7名が参加。

「春・秋2回、新潟と合同で、東京在住者は月イチでコンペをやっている」。85のベスグロを出した飯利剛士も同期と知れば納得。

クィーンズ杯を手にした有蘭順子(75回)「私他に女性が参加していれば自慢できたんですが…」と、ブービーメーカー賞(グロス124ネット88)もゲット。両手に花。

玲瓏会発足のスターターになってくれた金子章、まとめ役の村山健、安宅久憲、徳田晋也が

初代チャンピオン(グロス101、ネット72.2)で面目を保ち、長谷川耕一がしっかりとブービー賞で締めくくってくれた。

19番ホールの打ち上げ会。徳田晋也の司会進行で各賞(会長杯、副会長杯、クィーンズ杯)の発表。太田裕(71期)が提供した「びんとこな賞」「かぶ吉賞」(回転寿司の金券)、ゴルフ場提供のキャディバッグ2組に人気集中。

司会者の独断で「私 VS 全員でジャンケン」をやり、サドンデスで残った4人が、勝った順に選んで持ち帰り」と宣言。

打って、飲んで、食べて、参加賞つきの第一回・東京青山玲瓏会はお開きに。

反省会は次回へ向けての運営を話し合うため、10月5日六本木ヒルズクラブで有志が集まり、日付、会場、参加費用などを討議。

春秋2回の開催、会員名簿の作製、各期もまわりの事務局、事務費についても活発な提案が出た。

来年も取り敢えず61回が事務局を担当し、'06年から後輩に運営を託すことでまとまり、'05年の開催の準備に入ることになった。'05年さらなる参加を期待して散会。

順位	氏名	卒回	GROSS	NET
優勝	竹尾 昇	61	101	72.2
準優勝	市川 瑞夫	63	88	72.4
3位	佐藤 邦雄	75	90	73.2
4位	阿部 重生	61	89	73.4
5位	渡邊 公夫	68	100	73.6
6位	木村 昇	61	93	73.8
7位	小林 元雄	61	99	75.0
8位	渡辺 千艦	68	87	75.0
9位	金子 章	61	91	75.4
10位	鶴巻 正義	61	96	75.6
11位	高橋 正幸	64	89	75.8
12位	斉藤 伸昭	61	92	76.4
13位	佐藤 敏夫	61	97	76.6
14位	田中 忠夫	61	91	76.6
15位	飯利 剛士	68	85	76.6
16位	安宅 久憲	61	102	76.8
17位	長橋 徳衛	61	105	77.4
18位	近藤 貞雄	68	99	77.4
19位	木伏 靖幸	68	91	77.8
20位	村山 健	61	96	78.0
21位	津久井 保	63	96	78.0
22位	坂井 敬	64	96	78.0
23位	栗林 貞一	59	113	78.2
24位	風間 博	61	87	78.6
25位	浅見 昭夫	61	99	78.6
26位	中村 正春	61	106	79.6
27位	斎藤 正果	68	111	79.8
28位	徳田 晋也	61	116	80.0
29位	片田 宏一	63	111	81.0
30位	岩井 省吾	68	111	81.0
31位	田中 隆	87	118	82.0
32位	藤原 隆雄	63	116	83.6
33位	山根 伸之	64	121	85.0
34位	萬歳 信行	75	116	87.2
35位	長谷川 耕一	61	119	87.8
36位	有蘭 順子	75	124	88.0



小林副会長の第一打。球は正しく前方に進んでいます。



栗林会長の始球式。見事テープが開いたのですが、球は先にあり振れませんでした。



全員集合。本来ならば後方正面に富士山が撮る筈なれど薄曇りで残念。

#### 住所リスト出力サービスのお知らせ

当同窓会では、皆さんからの情報を元に常に会員の住所録をコンピューターにて更新しております。「同期会をやってみたいけれど、皆の住所がわからない…。アイツは今どうしているんだろう?」などお思いの方は事務局までお尋ね下さい。学年毎のリストを出力してお届けいたします。ご希望の学年と、リストか、ラベルかを明記し、連絡先を書き添えて事務局宛FAXをお送りください。FAX. 03-3423-1692(日下部・82回)

- 住所リスト1学年/3000円
- 宛名ラベル1学年/4000円

#### 偶数月第二火曜日の会

平成16年度の前定

12/14 (兼・忘年会)

平成17年度の前定

2/8・4/12・6/14・10/11・12/13

日本海庄や(赤坂店)7時～  
港区赤坂3-13-7 Tel:03-3586-5003

場所も時間も定例です。  
ご自由にご参加ください。

#### ■計報■

H.16.5月以降事務局にお知らせいただいた方々です。

中川真興 (21回)	下雅夫 (39回)	中田弘 (48回)
斉藤宏 (31回)	樋口雄七 (39回)	倉田資孝 (49回)
大岡清久 (36回)	桑山一郎 (42回)	小黒聡 (50回)
華房嶺磨 (36回)	石井嵩 (42回)	加藤喜一 (55回)
山内康平 (36回)	モカイ寛 (42回)	建部恒彦 (56回)
會純道 (37回)	佐藤敬雄 (44回)	茂田昇井 (57回)
馬場幸一郎 (37回)	松永しげる (47回)	小林義武 (60回)
大沼正一 (38回)	浜田敏衛 (46回)	青柳伸一 (62回)
舟崎徹 (38回)	中村芳彦 (46回)	進藤喜代子 (68回)

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

#### 同窓会年会費 自動引き落としのご案内

当同窓会では、振込に手間も手数料もいらぬ「口座引き落とし」のシステムを導入しております。お手続きいただいた方にはお名前入りのIDカードをお作りいたします。ご希望の方は、事務局までご一報下さるか、今回の総会の受付までお申し出下さいませ。

【すでに同窓会カードをお持ちの会員様へ】 年会費自動引き落としのお知らせ

平成16年度(平成16年10/1～平成17年9/30とします)同窓会年会費(2000円)を平成16年10/26頃ご指定の口座よりお引き落としさせていただきます。(残高のご確認をお願い致します。)

IDカードとしてお持ちください

郵便局に出かける手間が省けます

一筆啓上

～H16年5月以降の新人歓迎会への出欠はがきと会費振込用紙に添えられた主な近況です。～

41回・伊藤一雄  
8月で88才になります。ホペですが囲碁を楽しんでおります。

44回・佐々木俊男  
所沢市緑町から入間市扇町屋へ移転。今後もよろしく願います。

45回・山川貞之  
これは年会費の払込ではありません。今まで会報等送付の切手代としてお取め下さい。私は心身ともに皆様とお付き合い出来る状態ではありませんので、今後のパーティ案内・会報等送付の名簿から氏名削除願ひ度、お願い致します。以上(1万円のご寄付を頂きました。事)

51回・藤島武雄  
社交ダンス、ワインを語り、海外旅行

52回・渡辺達郎  
毎日、中国古典を読んでいます、元気です。

52回・大塚幹雄  
都合により、欠席致します。御盛會を祈ります。

53回・岩原 昭  
今年は喜寿の年になりお祝いと兼ねて出席し若いエネルギーを吸収したいと思います。

56回・松井正吾  
6/18は海外にでかけておりますので、欠席いたします。卒業してから56年になりますが、新中に入學した時が人生で一番嬉しなことと考えています。

56回・村松茂雄 可もなく不可もなし

56回・飯島昌彌  
56回生は健在な在京者が多く、折々日本倶楽部を会場として集まっては交歓を楽しんでおり一同で幸です。

58回・毛利 剛  
しばらく家を空けており、昨日(6月10日)戻ってきました。御返事が遅れ申し訳ありません。

58回・永井克孝  
御盛會をお祈りいたします。先約の為失礼いたします。

58回・皆川 敦  
5月初旬友人と3人でアメリカのコロラド州デンバー近郊を3日間ドライブ旅行を楽しみました。まだ元気です。

59回・花井 進  
相変わらず少年サッカークラブのコーチをしながら健康で楽しく過ごしています。

59回・牛木素吉郎 急用で出席できません。

59回・長橋敏雄  
都合により、欠席させて戴きます。御盛會を祈念いたします。

59回・小池和男  
幹事の方々にはお世話さまになりまして有難う御座います。

60回・石黒忠士  
至って元気ですが、残念ながら出席できません。ご盛會を祈ります。

60回・市村 哲  
体調不良のため欠席します。皆様によりしく。

61回・田中忠夫  
当日は当社の株主祝会へ出席のため欠席致します。9月17日東京青山玲瓏会には出席いたします。皆様によりしくご伝言下さい。

61回・吉川芳生  
先約が入ってますので、すいませんが欠席させていただきます。幹事の方、いつもご苦勞様です。

61回・赤堀和郎  
元気にはしておりますが、当日は所用があるため欠席いたします。皆様によりしくお伝え下さい。

61回・竹尾 昇  
いつもお世話になっております。今回不都合、秋の総会には必ず出るようにします。

61回・小池 弘  
1.今年4月で古稀に入りました。2.妻、次女と3人暮らしです。3.体調不良です。

61回・猪間駿太郎  
相変わらずオーストラリアの生活をエンジョイしています。日本では5日前から熱海の温泉町に転居しています。

62回・曾我 健  
昨年6月末でNHK交響楽団を退団、名誉顧問となりました。自

由の身を楽しんでいます、あちこち結構多忙です。

62回・大塚 亨  
勤めは終わりましたが、建築監理の仕事はボチボチ続けております。

63回・林山弘義  
先に予定の会合と重なるため、今回は欠席致します。御盛會お祈りします。

63回・間 彰  
体を勞りつつ静かに過ごしています。会のご成功と皆様のご健康を心からお祈りしています。

63回・馬場政説  
ご苦勞様でございます。少しの畑仕事で、健康維持を計っております。

64回・中谷光隆  
会長、理事、年度幹事の皆様には総会、年度ごとの同期会の開催、会報の送付をご苦勞様に存じ上げます。私は医師に心臓が少し不具合なので大切にせよと言われております。皆様のご健康をお祈り申し上げます。

64回・太田憲治  
いつもお世話になります。出席できませんが申し訳ございません。よろしく願ひします。

64回・吉田豊祐  
新橋通いが終了して早や2年。ほとんど毎日ゴロゴロしている今日この頃です。ご盛會を祈ります。

64回・清水良男  
いつも案内有難御座います。故里の老母の介護の為帰郷してお今回も欠席させていただきます。御盛會を心から祈念いたします。皆様によりしくお伝え下さい。

64回・齊木幸彦 楽しみにしています。

64回・坂本昌弘  
迷っていました、山根兄のお誘いで出席します。

64回・木山 清  
勤務先業務の都合で出席できません。あしからず。盛會を祈ります。

64回・庭山暢彦  
残念ですが、欠席させていただきます。御盛會を心よりお祈り致します。

64回・田伏正樹  
5月14日から初めてドイツへ行きドイツ語を学び、6月8日帰国しました。もっと若い時に行くべきでした。

65回・丸山一敏 いつも色々ありがとうございます。

65回・横山修二  
又々、幹事役の会合が重なっており、心苦しい限りですが欠席をお許し下さい。お送り頂く会報を懐かしく拝見し、その都度思いを新たにしております。今後ともよろしく願ひ致します。

65回・近藤昭雄  
7月に自宅の住所の町名が変更されるそうです。そのときにご連絡します。

66回・木下 功  
昨年8月末日をもって、職を辞し、今は趣味などを楽しんでおりますが、何かと多忙にしています。

66回・合田晴美  
喪中(長男事故死)につき出席を遠慮させていただきます。

67回・兆村晴夫  
脳梗塞の後遺症のリハビリをやっています。当日は医者に行く日で出席できません。

67回・大野隆治 楽しみにしています。

67回・佐々木邦男  
都合で参加できません。皆様によりしくお伝え下さい。

67回・片山忠一  
今年3月で定年退職。年金生活に入りました。

68回・渡邊公夫  
返事が遅れてしまい誠に申し訳ございません。同窓会の益々のご発展祈念しております。

69回・七里紀善  
ゴルフコンペ参加予約をしており、欠席させていただきます。

69回・高木敏之  
年2回の同窓会出席を楽しみにしておりましたが、今回は福岡での学会と重なり欠席です。

69回・服部千尋

いつもお世話様です。今後共、宜敷お願い致します。

70回・金子正史  
勤務先が変更となりましたが、住所は変わりません。宜しく願ひ致します。

70回・白石旺子  
アナウンサーを目指す大学生やスキルアップのための社会人の方々に、ボイストレーニングや話し方を教えております。

71回・太田 裕  
年末にオープンした「寿し かぶ吉」サンシャインアルパが苦戦しています。応援して下さい。

71回・齊藤 誠  
年会費納入も1年毎でなくて、5年一括等の方法も検討してもらえればよいと思う。

71回・柄沢 卓  
恩師のお写真が載った会報を帰郷した際に、母に見せたいと思います。

71回・松田裕子  
関屋中学時代同級の荒川さん、石井さんとは先月クラス会でお会いしております。お元気でいらっしゃいます。

72回・斎藤俊正  
急用の為出席出来ません。残念です。同期出席者によりしくお伝え下さい。

72回・小林正昭  
所用で参加できませんが、同期の方が出席されたらご一報頂ければ幸いです。

74回・大滝 均  
当日は新潟出張のため欠席となってしまいますが、都合がつけば出席したいと思います。

74回・山崎久孝  
昨年1月より台湾で台湾新幹線プロジェクトの仕事をしています。

75回・大原哲三  
東京を離れて、数年たちます。東京会を今年をもって退会いたしました。

75回・高橋 正  
ちょうど新潟で個展とぶつかってしまいました。皆様によりしく。

82回・西山活子  
今回も仕事の都合で出席出来ません。申し訳ありません。

85回・雨木若慶  
金曜日はカリキュラムの関係で何うことができません。盛會をお祈り申し上げます。

90回・田辺 文  
お世話になります。長男の病氣療養の為、今年1年以上上京しております。長い人生、いろいろあるものだな...と。会報の会費納入者一覧の中に懐かし名前を沢山見つけて、とても嬉しかったので、御盛會をお祈り申し上げます。

102回・池田哲郎  
金融内部監査士補、初級システムアドミニストレータ、DCプランナー2級、合格しました。

104回・星野由紀  
いつも懐かしく拝見しております。ご盛會をお祈り致します。

105回・小澤 藍  
当日はストラブールの学会におります。今秋よりジュネーブに留学致します。御盛會をお祈り申し上げます。

107回・池田沙良  
いつも父ととも大変お世話になっております。楽しみにしています。

110回・奥野 斐 御盛會を祈念しております。

111回・本間喬代  
111回卒業の3年1組の同級生の進路も全員決まり、東京青山同窓会会員もクラスの半数以上の30人になりました。この春休みには担任の町田先生の御退職祝いを皆でやりました。

112回・吉田丈夫  
東京のビルの林に日の入りて 日本海の夕陽懐かし

112回・前田敦美  
やっと少し大学にも一人暮らしにも慣れてきたところです。

112回・内山雄太  
筑波大学の吹奏楽団に入団しました。

112回・土沼勇人  
西早稲田から高田馬場に引越しました。

# 平成16年 東京青山同窓会 総会のお知らせ

### 【日時】

平成16年11月19日(金)

p.m. 6:00 受付開始

p.m. 6:30 開会

### 【会費】

一般 8000円

女性 6000円

大学生 3000円

### 【会場】

東京全日空ホテル

港区赤坂1-12-33 TEL. 03-3505-1111(代)

### 【プログラム】

総会

アトラクション

懇親会(着席buffet)



最寄り駅(溜池山王駅・13番出口) 銀座線・南北線  
【六本木一丁目駅・3番出口】 南北線  
路線バス(赤坂アークヒルズ前) 下車  
都01系統/新橋駅~渋谷駅

出版社  
新潟日報  
事業社

NIIGATA RYOKU

## 新潟力

2005年大合併から  
2007年政令市へ  
21世紀初頭、  
新潟は大きな岐路に立つ!

新潟市長の篠田昭氏(75回)が新潟について  
書かれた本を出版されました!

新潟には力がある。

- 「歴史の力」
  - 「大地の力」
  - 「日本海の力」
  - そして「人の力」
  - 「明日への力」がある。
- 篠田市長、渾身の書き下ろし。

## 総会のアトラクション

ジャズ演奏/音川英二 (87回・テナーサクソ奏者)

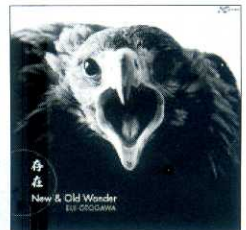
音川英二/Profile

高校生の頃よりジャズに興味をもち、  
大学進学後テナー・サクソを手にする。  
1984年にパークリー音楽大学へ奨学金を得て入学。  
同期は納浩一氏、道下和彦氏等。  
トミー・キャンベル、ウィル・カルホーン、タイガー大越等と共演。  
1990年帰国後は都内近郊のライブハウス、コンサート・ツアー、スタジオワーク等の活動を行う。  
1994年にニューヨークへ再度渡米。  
アロン・スコット、ジーン・レイク、フィル・マルコピッツ等と共演。  
5SPOT、BRADLEYS、Place on the Park等でライブ活動を行う。

ライブハウスでの活動がニューヨーク読売新聞の特集記事に掲載される。  
1996年の帰国後、森山威男カルテット、香取良彦ジャズ・オーケストラ岩瀬立飛 & 新澤健一郎グループ(Glidephonic Quiet Leaves)、Junky Funk等での活動を始め、その後はそれらに加え、T. P. O.、Nervio、BO-JO等々数多くのグループ、ライブに参加。  
2001年からは自己のカルテットでの活動も本格化している。  
2003年に、初リーダーアルバム、「存在」を発表。



<http://www.otogawa.net/>



CD:  
存在 ~ New & Old Wonder /

### 平成15年度・会費納入者一覧 H15.10.1~H16.9.30

10回 [通] (1名)	徳重 茂	田中 利男 (16名)	中村 晴信	岩原 昭	井上 菊雄	清野 誠二	山田 陸男
鈴木 節子	野澤 正男	49回 赤松 元敏	藤井 義良	近 泰男	指宿 淑	高見 久義	山中 紀行
32回 (1名)	早船 春洋	阿部 東	村山 一	近藤 圭二	今井 忠平	田代 九郎	山本 幸正 (3名)
曾我 英彦	本間 武	池田 純一	山田 英世 (10名)	高田 鴻一	内山 二	田村 量一	57回 小野塚 彰
37回 (1名)	村山 登	井上 正治雄	51回 石塚 誠也	中島 常雄	逢坂 七郎	永井 喜八郎	平野 敦雄
五百川 豊吉	44回 (3名)	岡本 乙川 順二	笠井 謙	盛山 淑郎	大谷 紳児	中川 邦司	茂田井 昇
38回 (2名)	斎藤 伸雄	梶山 勝清	笠原 仰二	山田 豊 (9名)	大野 利夫	中島 直彦	58回 池田 成義
高野 政夫	佐々木 俊男	梶原 計佐	梶井 功	55回 阿尻 威吾	鹿兒島 昌雄	中村 直彦	植村 未哉
丸山 岩三	錦織 登美夫	木村 竜一	河路 渡	新井 勝龍	加藤 勝則	中村 晃	片桐 欣哉
39回 (1名)	45回 (3名)	中村 廣徳	北村 茂	千葉 健一	金子 昌次郎	中山 昭一	片桐 欣哉
出塚 浩一	川村 明義	仁保 武人	坂野上 啓	中村 正義	川田 幸雄	原 英二	斎藤 茂
40回 (2名)	馬場 義輔	濱 博世	千葉 繁太	中村 幹男	北村 晴四郎	藤谷 和夫	大門 啓治
小山 賢市	山川 貞之	廣川 弘	丸山 猛	水澤 悠紀郎	木村 直平	久慈 正彦	田中 永井 早澤
高田 信川	46回 (4名)	舟崎 裕二郎	村上 安仁	村山 義夫	幸田 慶治	伏見 康	永井 早澤
41回 (3名)	50回 (13名)	本間 俊之	52回 (11名)	56回 (69名)	小島 直孝	堀藤 祐孝	59回 藤谷 秀満
五十嵐 富郎	一柳 俊夫	阿部 和夫	53回 (7名)	朝比奈 和三	小林 昭一	松井 昌	細貝 実夫
伊藤 一雄	下 勇	見島 壽一	中村 健	阿部 弘昭	小松 重男	三上 昌	堀内 俊夫
星名 孝平	富所 強哉	斎藤 茂美	水澤 悠紀郎	阿部 宏	近藤 源也	三崎 正一	松平 慎平
42回 (2名)	47回 (3名)	斎藤 泰五郎	村山 義夫	飯島 昌弥	幸田 慶治	皆川 和明	宗村 泰四郎
塩谷 正雄	48回 (2名)	橋本 保也	57回 (69名)	石崎 和雄	小林 昭一	宮田 和明	村山 保剛
東城 真佐男	朝日 翠	橋本 保也	朝比奈 和三	石田 智	小松 重男	宗村 和明	村山 保剛
43回 (7名)	木村 和郎	廣川 勲	阿部 弘昭	石原 国弘	近藤 源也	宗村 和明	村山 保剛
里見 義忠	斎藤 しょう太郎	宮原 昭三	阿部 宏	市川 千尋	近藤 源也	宗村 和明	村山 保剛
滝沢 義雄	48回 (2名)	寺田 秀夫	阿部 宏	伊藤 昶	近藤 源也	宗村 和明	村山 保剛
	石本 三郎	時田 勇司	阿部 宏		近藤 源也	宗村 和明	村山 保剛

東京青山同窓会会報

59回(40名) 池田 正文 石井 芳昌 板井 久須 牛木 素吉郎 大島 洋一 大野 敏行 大山 久 岡田 久夫 小園 英二 笠井 駿 金巻 久 栗林 洋 小池 和男 河野 誠 小城 廣 小林 榮作 茂原 喜彦 浅木 幸三 下條 幸友 岡野 光弘 高橋 晴夫 高橋 正利 高山 昇二郎 長島 一郎 長谷川 敏雄 納谷 喜郎 西野 武 花井 進 藤原 幸雄 水沢 邦弘 皆川 潔 山崎 徳左衛門 山田 和雄 山田 陽一 山崎 一成 吉田 陽吾 若木 滋 渡辺 満 60回(32名) 阿部 梅太 池浦 厚司 石田 忠士 市村 哲 内山 真一 岡村 嘉志 小川 秋実 金山 常吉 河田 常雄 切貫 久司 小出 直彦 小山 純夫 近藤 孝 佐藤 馨 清水 憐 曾我 陽三 高城 英雄 明男 千栗 潤 徳田 浩一 野村 保夫 長谷川 秀三 早武 正博 廣瀬 欽次郎 益子 恒徳 丸山 敏視 宮田 庄之助 矢川 和隆 山崎 良一 山本 淳夫 61回(47名) 赤堀 和郎 朝日 明 浅見 昭夫 安宅 久憲 安藤 友憲 石崎 敏夫 磯野 啓 伊藤 英子 大橋 恒夫 金子 章 河井 良三

川崎 栄一 木村 政雄 草間 光俊 熊谷 隆幸 小池 弘 小嶋 哲夫 小林 元雄 小山 達人 齐藤 敏夫 佐藤 良一 杉山 由孝 栗山 誠之 高橋 駿 竹尾 宣 田中 忠夫 田村 孝夫 鶴巻 正義 時岡 泰 長沼 雄徳 長橋 正春 中村 良地 西澤 康一 長谷川 耕一 長谷川 良雄 村岡 公夫 村山 健 谷田部 信 山田 充 横村 一郎 吉川 芳生 62回(32名) 安食 恒昭 池田 昌之 石黒 恒 石田 寛 石本 亮司 岩田 敬之 植松 隆之 内山 康夫 大高 昌一 小黒 孝之 熊谷 孝之 小池 健治 小島 研也 近藤 哲朗 佐藤 勝彦 佐藤 武司 曾我 健一 高橋 元 田中 毅 清水 枝松 中野 義一 中村 敏彦 藤原 敏子 帆崎 安典 三浦 愛三 嶺園 隆 村木 孝至 本井 真弓 63回(22名) 浅野 康一 安藤 五十嵐 石渡 利男 市川 瑞夫 正之 恵 柏 正平 梶原 哲郎 安川 賢司 白倉 守二 伊藤 高橋 間 彰 馬場 政説

彦坂 道迹 村山 弘義 山田 惠一 山田 益也 山本 潤一 若徳 廣志 64回(45名) 青野 欣司 阿部 鞆音 植村 陽一 江部 正晃 大石 孝男 太田 健治 柄沢 茂 川井 文夫 川口 徹明 川崎 清 木山 光雄 桑野 幸彦 齐木 俊一 坂井 敬 坂井 昌弘 佐藤 茂司 椎名 睦郎 清水 良男 菅野 勝 須田 嶺治 高橋 正幸 田才 邦彦 田伏 正樹 田村 康一 津野 慶浩 中川 仁 中島 光隆 中谷 仁 中山 恒彦 西野 貢司 早川 周作 星 満 堀 健次 真壁 日史郎 六朗 三國 伸之 山根 要輔 吉川 豊祐 吉田 藤子 65回(22名) 浅田 和之 安藤 宜清 飯村 厚 五十嵐 徹 池野 浩 枝松 昇 川合 英次 河路 明夫 小林 豆 佐藤 貞夫 佐藤 武行 柴澤 大五郎 渡谷 衛士 関英 一郎 武彦 丸山 敏 水野 左敏 山崎 和親 横山 修二 吉田 治彦 66回(20名) 阿部 三男 石山 芳春 風間 猪一 川上 肇 菊池 重治郎 木下 功 佐々木 紀美子 捧 一郎 佐藤 勲 塩谷 芳彦

鈴木 明光 二宮 靖彦 丹羽 真彦 野水 武郎 林 昌子 三井 昌夫 緑川 由紀子 室 六左衛門 吉田 陽一 鷺頭 陽一 石井 幹男 大野 隆治 岡崎 功 片山 忠一 川崎 昌彦 齊藤 久美子 佐々木 邦夫 菅又 信 高橋 三郎 高橋 信夫 西 章 皆川 学 山田 十市 68回(34名) 安食 恒和 安達 賢司 安達 雅巳 薄田 詔二 江上 雅子 小野塚 芳雄 上村 嶺子 川崎 肇 熊谷 武 小林 勲 近藤 貞雄 近藤 健弥 斎藤 康人 重野 桂子 西野 喜代子 早川 裕徳 藤沢 須磨 滝沢 猛 竹石 肇 田辺 紀子 寺尾 正大 長沼 誠二 中村 藤子 松原 伸子 村山 弘 岩居 秀禎 渡邊 公夫 渡辺 千艦 渡辺 泰彦 渡部 治子 69回(14名) 青木 利祐 岩尾 信宏 小黒 朋弘 金子 雅典 七里 紀善 清水 一男 高木 敏之 外川 克之 服部 千尋 樋口 正臣 山崎 一義 山崎 高明 山田 建男 池田 正義 伊藤 義博 猪口 孝 岩城 忠之 魚谷 西 加賀田 則夫 加藤 邦紘 金子 正史 川田 昌人 近藤 健太郎

菅原 一雄 岡根 俊明 高橋 道子 田辺 豊進 土田 進 野川 晃一 花輪 治 福島 治 山田 修 山宮 士郎 吉川 正孝 若井 正嗣 渡辺 允雄 渡部 美那実 太田 裕 大場 菊代 小沢 和子 柄沢 卓 小飯塚 豊 小林 昭衛 斎藤 誠 佐藤 禮子 高橋 直樹 藤本 亮介 堀 清忠 藤田 琢夫 72回(19名) 石田 庄 宇田川 由美 博 金巻 裕史 神林 賢治 小林 正昭 斎藤 敏武 斎藤 俊一 菅又 滋 高橋 忠 高橋 祐介 太刀川 圭一 富田 由李 古山 恒夫 松永 弘 横堀 弘 渡辺 毅之 阿部 裕 飯村 修等 石川 久 石黒 研吉 田辺 裕 田卷 裕治 成田 常也 南 英雄 両川 弘道 74回(29名) 徳沢 幹人 池 潔 石井 拓男 石山 范 和泉 修平 岩城 久則 上田 久則 江口 憲一 大石 均 大滝 小 均 小樽 好忠 加藤 直久 加藤 博文 菊池 隆 菊池 義夫 工藤 雅之 佐藤 浩 高橋 信郎 高橋 信義 中村 義一 西田 百合子 西脇 雄一

波多腰 明 原 信一 山崎 久孝 青木 英明 有蘭 順子 石塚 文雄 伊藤 植村 枝並 一夫 大越 惠子 大塚 敏雄 大原 哲三 岡田 政文 笠井 忠 川上 滋 小泉 慈行 小出 公平 後藤 輝雄 斎藤 邦雄 曾我 正男 高橋 正省一 千田 武 野崎 茂 藤井 信行 藤井 建一 藤縄 利勝 本間 彰 三富 修 村山 勝 山崎 周二 山田 久雄 吉村 正裕 岩橋 俊朗 岩原 俊久 小田 明美 尾張 和史 海部 正樹 久住 徳広 後藤 薫 斎藤 薫 佐藤 芳春 島 健介 茂夫 邦直 まゆみ 田中 俊作 長北 学 中谷 文夫 林 誠 純夫 古川 恒一 細谷 洋一 森田 雅志 湯田 拓 渡辺 雅夫 渡辺 雅夫 一色 由美子 片山 等 神戸 裕 北村 一雄 斎藤 實 佐藤 茂 杉崎 真実子 角南 兼朗 田原 隆夫 生野 勝 長谷川 実 山田 民夫 78回(11名) 太田 秀樹 小野 真知子 川村 和共 斎藤 康之丞 須田 敏朗 高井 博英

肥田 博子 向井 美夜子 村田 光男 吉澤 哲彦 79回(6名) 小田 章治 河合 正子 川上 清司 齐藤 浩爾 西口 幸男 星名 健二 80回(6名) 位田 和彦 内田 博己 長 正子 小野 秀子 神林 尚律 三森 洋 荒川 和幸 五十嵐 隆 上村 昌芳 越野 典男 高野 俊也 鰐淵 博 82回(12名) 金子 裕一 河西 敦子 清田 甚 日下部 朋子 小池 康男 小亦 齐 齐藤 滋 成田 昌彦 西山 活子 宮村 伸一 吉田 実 84回(14名) 朝倉 仁樹 大須賀 郷子 太田 淑子 加藤 雅一 加藤 雅一 唐澤 雅一 白津 孝 高津 直樹 田崎 正巳 田中 昌夫 星野 郁夫 星野 昭英 丸山 祐一郎 山崎 辰男 85回(23名) 雨木 若慶 荒井 裕子 池田 芳彦 今井 豊重 大谷 郁夫 奥村 浩一 幸村 伸 小林 彰義 篠川 康雄 佐藤 亨 史枝 博史 田中 研一 登枝 秋夫 戸枝 和生 中嶋 浩一 西山 信好 橋本 到

松下 正寿 森 大輔 86回(7名) 山田 高美 大園 博久 斎藤 健 利直 田中 淳子 前田 智子 宮腰 重三郎 吉井 正行 87回(6名) 小柴 孝子 山口 操 田中 隆 南 正人 渡辺 桂 渡辺 政城 88回(4名) 今井 信一郎 小竹 聡 長谷川 隆 吉岡 潤 89回(3名) 岩野 高子 倉田 裕一 小島 裕樹 90回(10名) 伊藤 暢 歌代 真人 木村 和人 斎藤 結花 高橋 美和 田辺 文器 徳永 泰 中村 哲 南 哲子 横井 義彦 91回(1名) 酒井 祐司 92回(1名) 白坂 和久 95回(1名) 橋田 篤英 97回(1名) 渡邊 英典 101回(1名) 塩野 淳也 102回(1名) 池田 哲郎 103回(1名) 松原 有里枝 105回(2名) 遠藤 亮 吉岡 寛充 106回(3名) 佐藤 亮太 野本 裕史 渡辺 悠 107回(2名) 小橋川 嘉樹 白川 直人 111回(1名) 斎藤 仁美 112回(13名) 安明 浩 安藤 透 入澤 諒 大坂 あゆみ 大花 優紀 金澤 信太郎 坂田 奈緒美 芝香 里香 仲村 陽一 野本 佳奈 前田 裕介 敦美 丈夫 吉田 丈夫

以上829名

感謝 56回学年幹事宗村 禎三氏のご尽力により、62名の会費をご入金いただきました。(事務局拜)

■年会費未納の方は、同封の振替用紙にてまたは指定銀行口座までお振込下さい。(1口1000円、2口以上でお願いいたします。)